



自ら輝きつつ  
仲間を照らし  
未来を創る  
「太陽の子」

# きらめく 簗木

令和5年11月7日 文責 校長 福田 啓子



## 読書の秋・スポーツの秋

11月になりました。空気が澄み、日中は過ごしやすい天気が続いています。この時期を利用して、毎年図書委員会が「テラス読書」を行っています。屋外で読み聞かせをしたり、折り紙を折ったり、本を読んでクイズに答えたりしました。3日間とも大盛況でした。図書担当による青少年読書感想文入選作品の朗読（放送）や図書室掲示も行われました。このような取組を通して、子供たちがこれまで以上に読書に興味をもち、自分の考え方や生き方に生かしてくれることを期待しています。保護者の皆様もお子さんと一緒に読書に親しまれてみてはいかがでしょうか。



また、この時期はスポーツをするにも適した時期です。体育大会後、「地域の方にきれいに整地していただいた運動場で、思い切り体を動かそう。」と呼びかけたところ、休み時間に運動場に出て遊具やボールを使って遊ぶ子供が増えました。10月後半からは、持久走記録会に向け、登校後すぐに運動場に出て走る子も出てきました。軽い運動は、体力づくりだけでなく、気分転換にもなります。



心と体が育つ秋にしてほしいと思います。

## 伊藤登志子さん、再び簗木へ(11月2日)

旧本山小学校出身で、「イピル・イピルの会」代表の伊藤登志子さんに、5・6年生に、平和についてお話をいただきました。伊藤さんは、「イピル・イピルの会」という、戦争や災害などからの復興活動・各種人道活動等への支援を中心に、幅広い活動をされているボランティア団体の代表です。特にボスニア・ヘルツェゴビナへの支援を長年行っていらっしゃいます。今年もボスニア・ヘルツェゴビナの子供たちが描いた絵を携えて来てくださいました。

「平和の大切さを伝えるには何がよいか、と考え、桜を植えていこうと思った。」「子供たちにこの活動に関心を持ってほしいと思い、絵画コンクールをすることにした。」「自分でやろうと思った目標は、ずっと持ち続けてほしい。その目標に向かって頑張っていると、賛同してくれる人や支援してくれる人が現れる」など、たくさんの価値ある言葉をいただきました。子供たちは、画面に映し出される美しい桜並木を見て、伊藤さんの取組が実を結んでいることに尊敬の念を抱いていました。



## 不審者対応避難訓練・薬物乱用防止教室(11月7日)

学校に侵入した不審者への対応・避難の仕方や、子供たちが外出中、危機に遭った場合の対処法や安全に対する心構えを学ぶ訓練を行いました。

この訓練後、6年生は薬物乱用防止教室を行いました。薬物乱用の恐ろしさ、薬物乱用を勧められたときの断り方などを教えていただきました。

これからも、子どもたちの命を守ることに、安全・安心を第一に、教育活動を進めてまいります。

